

市内中学生の「推し本」をロボットが紹介！！ ～フィジカルA Iを活用した実証実験を橋本図書館で実施します～

子どもたちの本への関心を高めるとともに、市内企業が持つロボット技術を身近な場所で体験してもらうため、橋本図書館に市内中学生が作成した本の紹介POPを掲載するとともに、令和8年度相模原市トライアル発注認定企業のコミュニケーションロボット「Buddiotte（バディオット）」がおすすめ図書を紹介します。

1 内容

- 小山中学校の図書委員が作成した「推し本」の紹介POPをデジタル化し、生成AIを活用して内容を整理し、クイズを作成します。
- 双方向コミュニケーションロボットがクイズを出題し、来館者の回答を受け取り、正誤に応じて反応します。（一方的な情報表示ではなく、人とロボットの双方向のやり取りを実現します。）
- 状況に応じてロボットが動き、来館者を「推し本」の関連コーナーに案内します。

2 期間

令和8年10月14日（水）から10月31日（土）まで

3 場所

橋本図書館（緑区橋本3-28-1 ミウィ橋本6階）

※ 開館日の午前10時から午後5時まで実施

4 トライアル発注認定企業

コミュナルテクノロジーサービス株式会社 代表取締役社長 ^{たかむく}高橋 ^{ともりの}大寛
（緑区西橋本5-4-21 さがみはら産業創造センターDesk10）

5 フィジカルA Iを活用したロボットについて

汎用ロボット「temi（テミ）」に、コミュナルテクノロジーサービス株式会社が開発したAI・IoT統合制御プラットフォーム「Buddiotte（バディオット）」を搭載し、生成AIによる情報処理とロボットによる現実空間でのコミュニケーションを組み合わせます。

6 協力

埼玉県立浦和第一女子高等学校（ロボットの動作シナリオの検討・構築）

戸田建設株式会社（フィジカルA I 社会実装のアドバイザー）



7 その他

本市では、ロボットを「特別なもの」ではなく、市民の生活をより便利で豊かにする身近な存在として感じていただけるよう、「ロボットのまち さがみはら」の取組を進めています。

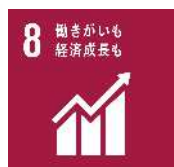
今回は、工場や実証フィールドではなく、子どもから大人まで幅広い市民が利用する「図書館」を舞台に、ロボットと人との新しいコミュニケーションの可能性を探ります。

相模原市トライアル発注認定制度について

優れた新製品の生産及び新役務の提供により新たな事業分野の開拓を図る市内中小企業者を「新製品の生産又は新役務の提供により新たな事業分野の開拓を図る者」として認定し、市がホームページへの掲載、認定製品カタログの作成、展示会への出展など、その新製品等の販路開拓を支援するとともに、その一部を市が試験的に購入し、評価する制度です。

▼認定製品や制度については、こちら

<https://industry.city.sagamihara.kanagawa.jp/trial-certification/>



問合せ先
産業支援・雇用対策課
電話 042-707-7154